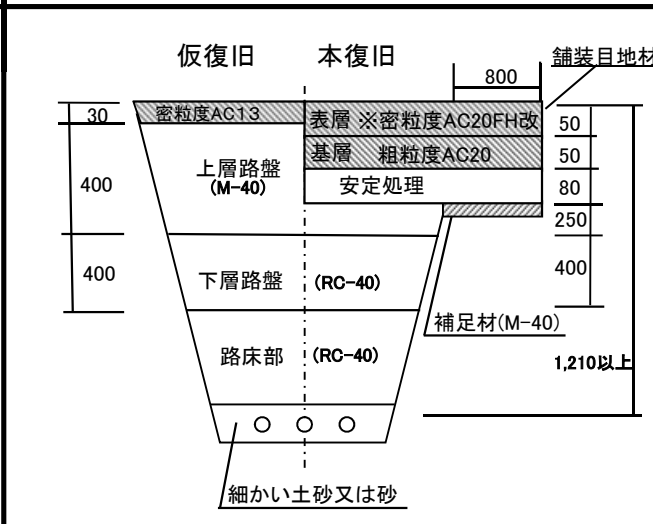
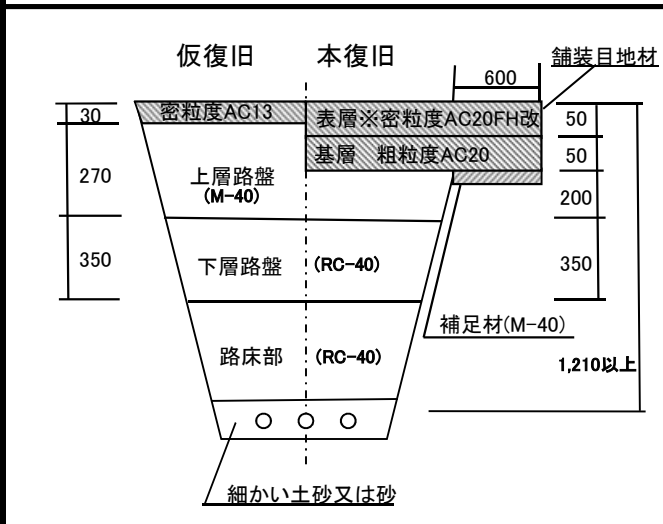
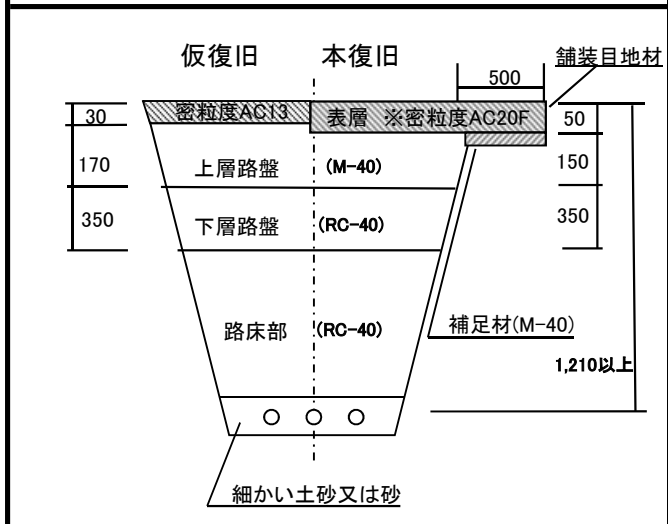


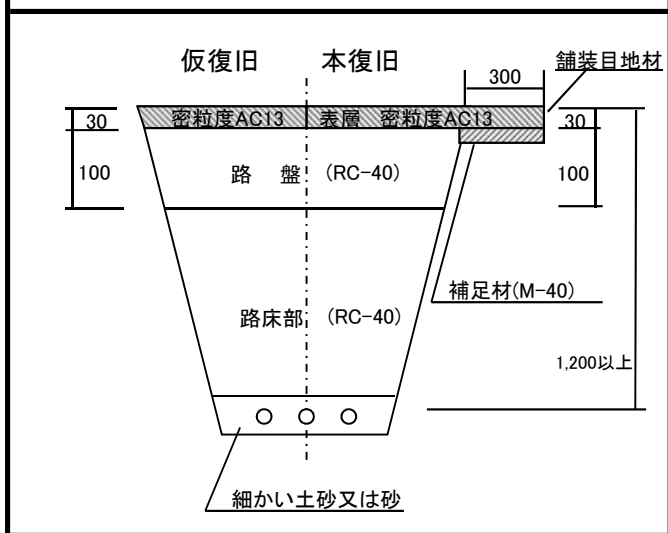
県道アスファルト舗装復旧断面図

(単位：mm)

A交通 大型交通量 100以上250未満(台/日・一方向) **B交通** 大型交通量 250以上1000未満(台/日・一方向) **C交通** 大型交通量 1000以上3000未満(台/日・一方向)

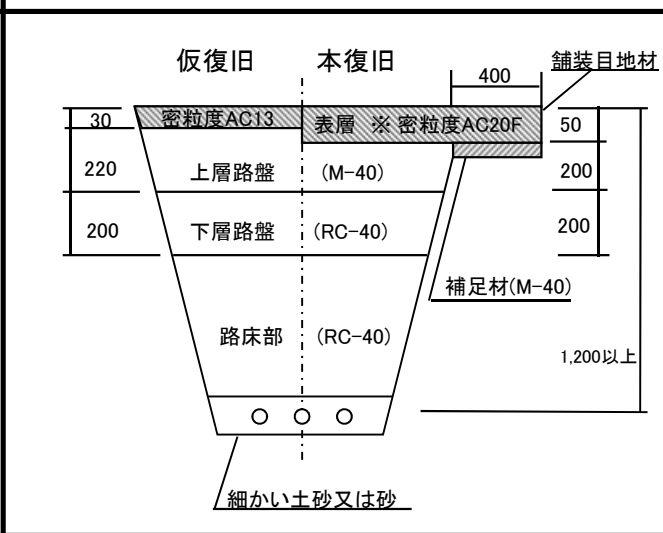


歩道



歩道乗入口

(主に普通車が入り出す箇所)



※ 車道部のアスファルト舗装の材料区分

交通量	表層	基層
L、A交通	施工厚5cm以上	密粒度AC20F
	施工厚5cm以上の滑り止め部	密粒度AC20F(改質材入り)
	施工厚5cm未満	密粒度AC13
B交通	施工厚5cm以上	密粒度AC20FH改 粗粒度AC20
	施工厚5cm未満	密粒度AC13FH
C交通	施工厚5cm以上	密粒度AC20FH改 (改質材入り) 粗粒度AC20
	施工厚5cm未満	粗粒度AC13FH (改質材入り)

仮復旧工においても加熱アスファルト混合物を使用すること。
 ※ 掘削勾配
 土留工施工の場合は90°、素掘の場合は労働安全衛生規則により土質に応じて安全掘削勾配にすること。
 ※ 地下電線を埋設する場合は、その頂部(周辺埋め戻し部を含む。)と路面との距離(以下「埋設深度」という。)は、車道の地下にあっては、0.8メートル、歩道の地下にあっては、0.6メートル(別表第2による本復旧又は仮復旧の工事の舗装構成の厚さの合計はこれを超える場合、その厚さの合計。)以下としないこと。(略)